

第2期宮城県教育振興基本計画(改訂版)中間案の概要

第1章 計画の中間見直しに当たって

中間見直しの趣旨

教育の振興に関する施策の総合的かつ体系的な推進を図るため、平成29年3月に、令和8年度を目標年度とする「第2期宮城県教育振興基本計画」を策定し、各種教育施策を展開

- 《近年の動向》
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に代表される先行き不透明で予測困難な社会の到来
 - 他者の多様性を尊重し、互いに高め合うことのできる環境づくりの必要性が増大

教育を巡る状況変化への対応

- 新学習指導要領への対応
- 教育機会確保法に基づく児童生徒への支援
- 教育DXの推進 等

本県の課題に対応する取組の充実・強化

- 学力、体力の向上
- 不登校児童生徒への支援の充実 等

計画の中間見直し

計画の位置付け及び期間

《位置付け》

- 「新・宮城の将来ビジョン」を踏まえた部門別計画として、本県教育の目指すべき姿を明確にするとともに、施策の方向性等を示す計画
- 教育基本法第17条第2項の規定に基づき策定する計画
- 地方教育行政法第1条の3の規定に基づき策定する「教育等の振興に関する施策の大綱」

《期間》

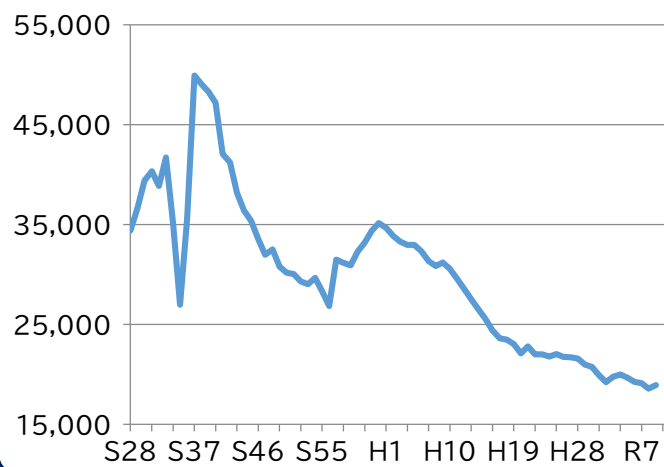
- 平成29年度から令和10年度まで(12年間)

第2章 本県教育の現状

人口減少社会の到来

- 本県の人口は平成15年をピークに減少(現在約227万人)
- 令和27年には約181万人、年少人口の割合は9.6%にまで減少する見込

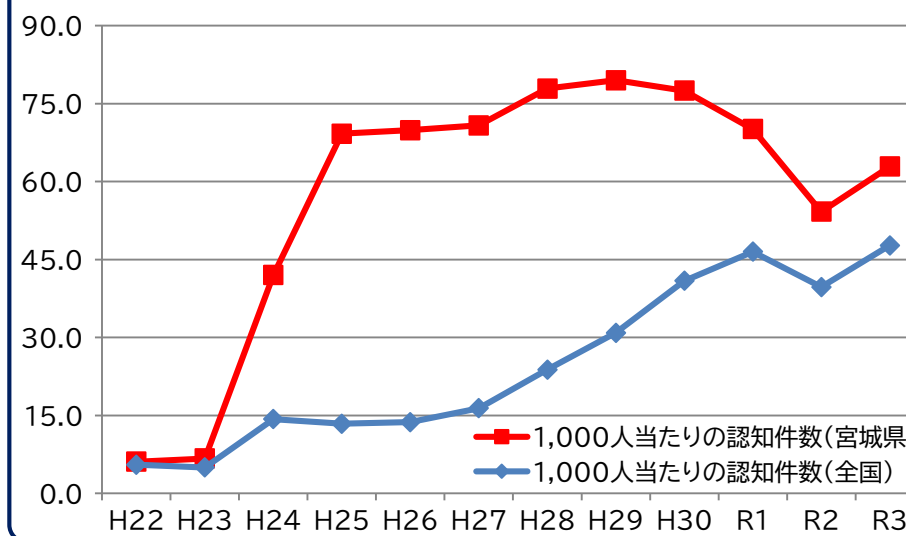
《中学校卒業(見込)者数の推移[人]》



いじめ問題への対応

- いじめに対する意識の高まりと学校現場での早期発見の方針が徹底され、平成24年度以降、いじめの認知件数が全国平均と比べて大幅に増加

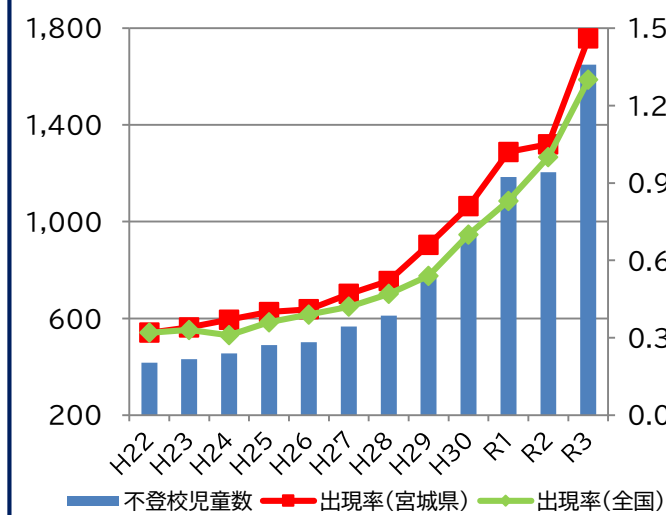
《いじめの認知件数[件]》



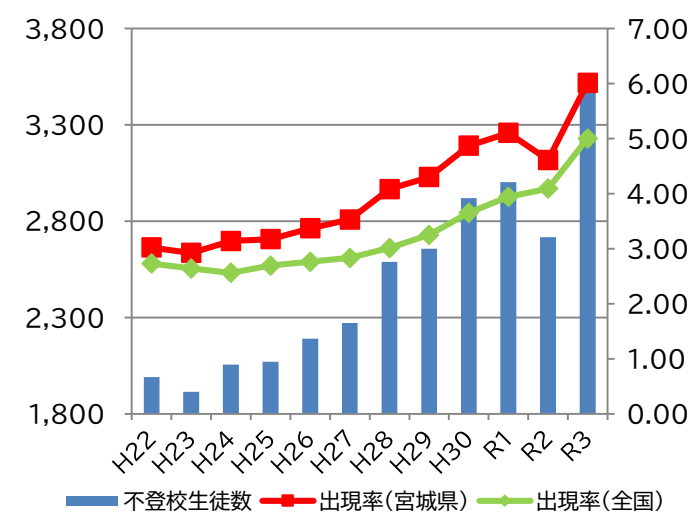
増加する不登校児童生徒への支援

- 不登校児童生徒数は増加傾向にあり、在籍者比率(出現率)は全国と比べ高い状況が継続
- 不登校のきっかけは「気がわからない」「不安などの情緒的混乱」「勉強が分からない」などが多い

《不登校児童数(小学校)[人、%]》



《不登校生徒数(中学校)[人、%]》

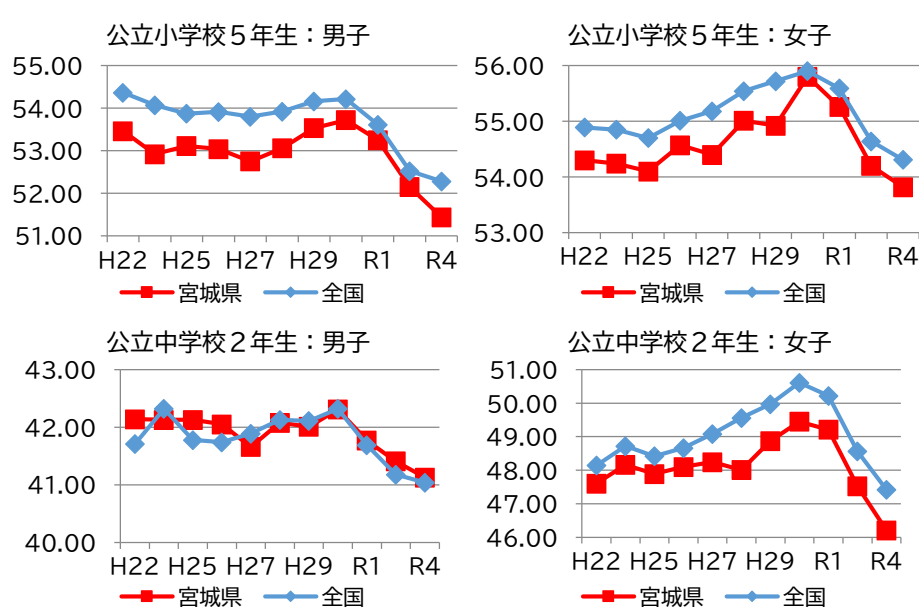


体力・運動能力の低下

- 児童生徒の体力・運動能力は、小学生と中学生女子において、全国平均を下回る傾向が続いている

- 運動が好きな子供と苦手な子供の二極化傾向が見られることなどが体力低下の要因と考えられる

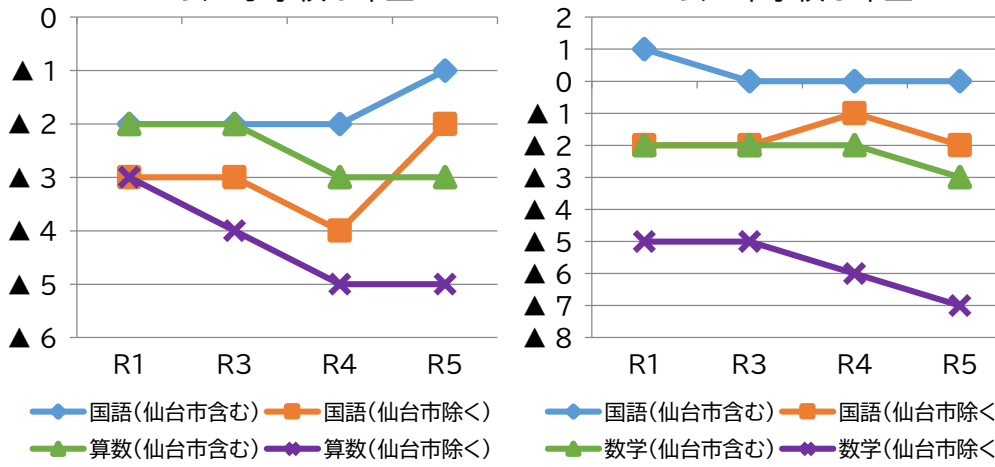
《体力合計点[点]》



基礎的・基本的な学習内容の定着

- 全国学力・学習状況調査では、小学生は国語と算数、中学生は数学において、全国平均を下回る傾向が続いている

《全国平均正答率との差[ポイント]》



第3章 第2期計画期間中の動向

本県教育を巡る主な状況

- 教育機会確保法に基づく個々の不登校児童生徒の状況に応じた支援
- 新学習指導要領の実施
- GIGAスクール構想等に基づくICT活用の加速化
- 国の新たな教育振興基本計画の策定
- 新たな学校防災体制の構築
- 新・宮城の将来ビジョンの策定

計画の進捗状況

- 《遅れが見られる主な基本方向》
- 1 豊かな人間性と社会性の育成
 - 2 健やかな体の育成
 - 3 確かな学力の育成

基本方向や取組の再構成
理念(目指す姿や計画の目標)の継承

第2期宮城県教育振興基本計画(改訂版)

新・宮城の将来ビジョンの方向性（踏まえる）

- 持続可能な未来を担う子どもを社会全体ではなくむ
- 誰もがその人らしく活躍できる環境の整備

《目指す姿》

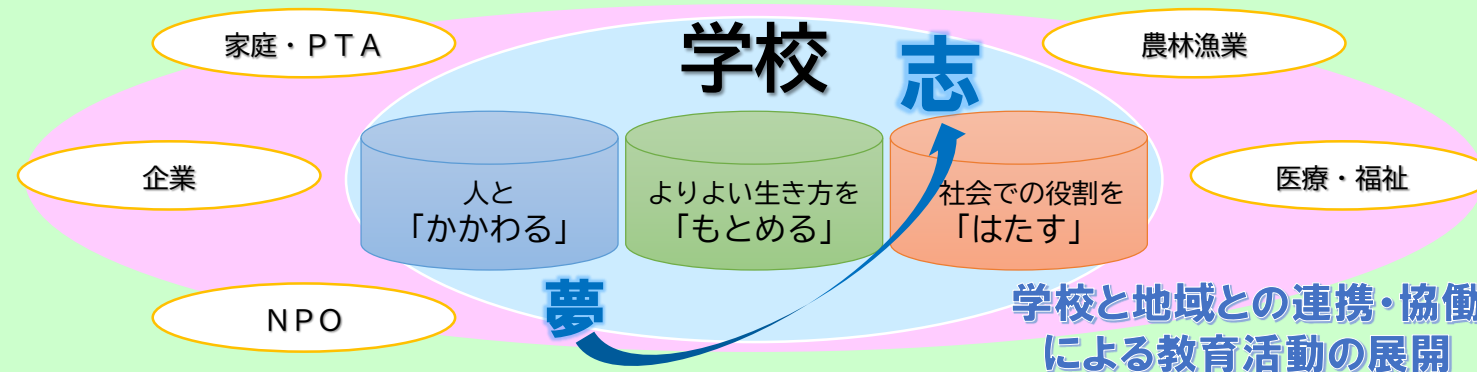
学校・家庭・地域の強い絆のもとで、一人一人の多様な個性が輝き、我が国やふるさと宮城の復興とその先にある持続的な発展を支え、よりよい未来を主体的に創造する高い志と思いやりを持った、心身ともに健やかな子供が育っています。そして、一人一人が幸福や生きがいを感じながら、生涯にわたり、多様に学び、交流する中で、豊かな文化と活力のある地域社会が形成されています。

国の新たな教育振興基本計画のコンセプト（踏まえる）

- 2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
- 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

志教育

- 子供たちの勤労観や職業観を育てるキャリア教育を前提に、社会の中でどのように生きていくべきかを深く考えさせることを重視した本県独自の取組
- 学校で学ぶ知識・技能と実社会や職業との関連を意識させ、子供たちの主体的に学ぶ意欲や将来の生き方を考える態度を育むことを目指す



目指す姿の実現に向けて取り組む5つの目標

- 目標1** 自他の命を大切にし、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。
- 目標2** 夢や志の実現に向けて主体的に学び、考え行動し、絶えず変化する予測困難な社会を生き抜く人間を育む。
- 目標3** ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の持続的な発展を支える人間を育む。
- 目標4** 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子供を守り育てる環境をつくる。
- 目標5** 生涯にわたり学び、相互に多様性を認め、高め合い、幸福や生きがいを感じながら充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

本県教育の発展につなげる横断的な視点

《施策の展開に当たっての横断的な視点》 “誰もが自分らしく学び、一人一人の可能性を広げる教育DXの推進”

5つの目標を達成するために具体的に講じていく11の基本方向

- 基本方向1 豊かな人間性と社会性の育成
- 基本方向2 健やかな体の育成
- 基本方向3 確かな学力の育成
- 基本方向4 幼児教育の充実
- 基本方向5 多様なニーズに対応し可能性を引き出す教育の推進
- 基本方向6 社会の発展を支える力と郷土を愛する心の育成
- 基本方向7 命を守る力と共に支え合う心の育成
- 基本方向8 学びの保障と教育機会の確保
- 基本方向9 安心して楽しく学べる教育環境づくり
- 基本方向10 家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり
- 基本方向11 生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進

施策の全体イメージ

※ 下線は現計画からの追加・修正箇所 マーカーは新たに追加された要素

[子供に関わる取組]

<目標1> 心身ともに健やかな人づくり【心と体】

基本方向1	豊かな人間性と社会性の育成	基本方向2	健やかな体の育成
志教育	道徳教育	体験活動	いじめへの対応
人権教育		運動習慣	体力・運動能力
		食育	学校保健
<<取組>> ① 生きる力を育む「志教育」の推進 [重点] ② 命を尊重し思いやりの心を持つ感性豊かな子供の育成 [重点] ③ いじめへの対応、 人権教育の推進 [重点]		<<取組>> ① 健康な体づくりと体力・運動能力の向上 DX [重点] ② 食育の推進 ③ 心身の健康を保つ学校保健の充実	
<<主な目標指標>> ・ 「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた児童生徒の割合		<<主な目標指標>> ・ 児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離	

<目標2> 社会を生き抜く人づくり【学ぶ力】

基本方向3	確かな学力の育成	基本方向4	幼児教育の充実
学習習慣	カリキュラムマネジメント	学ぶ土台づくり	幼・保・小連携
個別最適な学びと協働的な学び		<<取組>>	
1人1台端末	情報活用能力	① 幼児期における「学ぶ土台づくり」の推進 [重点]	② 幼児教育の充実のための環境づくり
シチズンシップ教育	外国語活動	<<主な目標指標>>	・ 保幼小接続のための「スタートカリキュラム」を作成している市町村立小学校の割合
環境教育			
<<取組>> ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長 [重点] ② ICTによる学びの充実と情報活用能力の育成 DX [重点] ③ 国際理解を育む教育の推進 ④ 社会形成・社会参加に関する教育（シチズンシップ教育）の推進 ⑤ 環境教育の推進		<<多様なニーズに対応し可能性を引き出す教育の推進>> ① 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 DX [重点] ② 多様性を尊重し 共に学び合う教育の推進	
<<主な目標指標>> ・ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と答えた児童生徒の割合 ・ 全国平均正答率とのかい離 ・ 授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合		<<主な目標指標>> ・ 小学校から中学校に、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合	

<目標3> 宮城の発展を支える人づくり【社会貢献・郷土愛】

基本方向6	社会の発展を支える力と郷土を愛する心の育成	基本方向7	命を守る力と共に支え合う心の育成
グローバル人材	キャリア教育	郷土愛	文化財
		学校防災体制	防災教育
		安全教育	
<<取組>> ① 宮城の将来を担う人づくり [重点] ② 伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成 ③ 文化財の保護と活用 DX		<<取組>> ① 地域と連携した防災・安全体制の確立 [重点] ② 系統的な防災・安全教育の推進	
<<主な目標指標>> ・ 大学等への現役進学達成率の全国平均値とのかい離 ・ 県内の高等学校卒業生が県内に就職した割合		<<主な目標指標>> ・ 地域学校安全委員会等の連絡会議を設置している学校の割合 ・ 地域住民と連携した避難訓練を実施している学校の割合	

[子供に関わる取組を支える基盤]

<目標4> 県民総ぐるみで支える宮城の教育【学校・家庭・地域の連携・協働】

基本方向8	学びの保障と教育機会の確保	基本方向9	安心して楽しく学べる教育環境づくり	基本方向10	家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり
不登校児童生徒への支援	教育相談	社会に開かれた教育課程	教育改革	教師確保	家庭教育支援
困難を抱える子供への支援	経済的支援	教員の負担軽減	学校施設の脱炭素化	私学振興	基本的な生活習慣
					コミュニティ・スクール
					リアルな体験機会
					部活動の地域移行
<<取組>> ① 社会全体で子供を支援する体制の充実 DX [重点] ② 学習環境の整備充実による学びのセーフティネットの構築		<<取組>> ① 地域とともにある魅力ある学校づくりの推進 [重点] ② 教員の資質能力の総合的な向上と 働き方改革の推進 ③ 学校施設・設備の整備充実 DX [重点] ④ 私学教育の振興		<<取組>> ① 家庭の教育力を支える環境づくり [重点] ② 地域と学校の連携・協働を推進する仕組みづくり [重点] ③ 子供たちが安全で安心できる環境づくり	
<<主な目標指標>> ・ 不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合		<<主な目標指標>> ・ 「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合 ・ 学校の業務改善方針や計画等を策定している県内教育委員会の割合		<<主な目標指標>> ・ 朝食を毎日食べる児童の割合 ・ 地域学校協働本部がカバーする学校の割合	

<目標5> 誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも【生涯学習・生涯スポーツ】

基本方向11	生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進
学び続ける環境づくり	地域づくり
生涯スポーツ	文化芸術
競技スポーツ	
<<取組>> ① 誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実 DX [重点] ② 多様な学びによる地域づくり ③ 文化芸術活動の推進 DX ④ スポーツの価値を活用した生涯スポーツ社会の構築 ⑤ 競技力向上に向けたスポーツ活動の推進	
<<主な目標指標>> ・ 生涯学習プラットフォーム閲覧数 ・ 総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率	

<施策の展開に当たっての横断的な視点> “誰もが自分らしく学び、一人一人の可能性を広げる教育DXの推進”